

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-86
研究課題名	肺定位照射後の肺障害の検討
研究期間	西暦 2012年 7月（倫理委員会承認後）～ 2012年 9月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療記録）
上記材料の採取期間	西暦 2005年 1月～ 2009年 12月
意義、目的	肺定位照射後に起こりうる放射線肺臓炎のリスク因子を検討する。 肺腫瘍に対する定位放射線治療後には、放射線肺臓炎を発症する可能性があり、時に重篤な経過となる。放射線治療計画における各種パラメーター等と発症との関連を調査し、放射線肺臓炎発症率の低下、また軽症化を目指す。
方法	東北大学病院放射線治療科にて、2005年から2009年に肺定位照射を行った症例につき、カルテなどの診療記録を参照することにより、後ろ向き研究を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院放射線治療科 教授 神宮 啓一 TEL 022-717-7312